



きずな

第 13 号

発行 / 茨木市市民活動センター
大阪府茨木市駅前 4 丁目
7 番 50 号 市民会館 2 階
TEL&FAX 072-623-8820
http://www.ibaraki-npo.jp/
Email:ibaraki-npo@cyber.ocn.ne.jp

“つなげる” “支える” “発信する”

登録団体の活動紹介

女性グループ翼 (ウィング)

“翼”は《可能性》。茨木の女性たちが元気になろう！と 16 年間、女性が安心できる語りの場を運営してきました。Consciousness Raising という手法の語り合いグループです。

新しく《安心ネット・キャンペーン》の活動も誕生しました。きっかけは、怖くて不安な気持ちにさせられた報道でした。市内のにぎやかな商店街での女性監禁事件や子どもへの性犯罪。

幸い、姉妹都市である米国ミネアポリスは、Sexual Assault Response Team の先進地と判りました。そこで 2008 年、警察・検察・病院・NPO の連携体制を学びに行きました。

この体制があれば、被害直後から温かな支援を得られます。必要に応じてアフターピルの処方 (72 時間以内)、STD 検査、カウンセリング、さらには証拠採取によって加害者の DNA 等の証拠が見つければ、次なる犯罪を防ぐことにもつながります。

キャンペーンの賛同人は、1500 人を越えました！

今年 6 月には、地元での支援のための人材掘り起こしをめざして、専門家を招いて、フォーラム & 講座を計画しています。特技のある方、立派な名人、医療関係者、ボランティア他、募集中！

★連絡先 / 翼事務局はたの / 留守電 & FAX 643 - 6773

★メール / wing-cr@hcn.zaq.ne.jp



▲ミネアポリス郊外の静かな住宅街にある Sexual Violence Center

昨年 2 月の大藪順子写真展のようす (ミネアポリス SART 報告展も併設)



自閉症の会 どんぐり

私たちは、自閉症・発達障害のある子供を持つ親の会で 2005 年から活動しています。

大都市の中では発達障害に対する研究会や講演会などが活発に行われています。一部の都市ではそれを活用し多くの人達が集まる姿がみられます。茨木ではまだ『発達障害』という言葉さえも広まらず、学校や社会で理解が少ない事で悩む人が多く、この障害を理解してもらいたい、市の取り組みに活用してもらいたいという思いの親や支援者がたくさんいることを知り、『啓発』することが必要ということで集まりました。

ほとんど手探りの状態でしたが、人脈を探しながら何とか講演会をしてきました。7 回の講演会は毎回満席で、いい講演会があっても遠くまで行けない近くで聞きたいという声であふれていました。『自閉症の理解と支援』講座はどの人にも有用な支援です。微力な活動ですが、これが『街』単位に広がって茨木市が優しい街になっていくことを祈りつつ活動していきたいと思っています。

★連絡先 / 勝部 TEL/Fax 072-624-1247

★E-mail / tazuu32k@yahoo.co.jp



▲サポートブックの作り方と使い方講座



自閉症支援グッズ▶



いばらき市民活動応援フェスタ

と き／平成 22 年 11 月 27 日 (土) 10:00~16:00

ところ／茨木市市民総合センター (クリエイトセンター)

主 催／いばらき市民活動応援フェスタ実行委員会・市民活動センター・茨木市

過去 3 年間、生涯学習センターにて開催されていた「セカンドステージ」を、今年度から会場をクリエイトセンターに移し「市民活動応援フェスタ」として新しく誕生させました。午前中の高槻日赤病院前院長 人見滋樹先生の講演は、立ち見が出るほどの盛況であり、午後からの活動紹介ブースやイベント会場、体験会場、歌声広場等にも多くの人が集まり、賑わいました。今回はすべて市民の手で作上げたフェスタでしたが、参加団体も 59 団体と過去最多であり、当日の参加者は 800 名をカウントし、新しい出発を華々しく飾ることができました。

講演会

健やかに生きる健康法と、感謝で終える最期の迎え方



人見 滋樹 先生 (京都大学名誉教授・高槻赤十字病院前院長)

先生のご講演では、人間が健やかに生き、豊かな老いを迎えるための心がけを、医学的な見地から一般の人にも分かりやすく説明されました。先生の医師としての高い見識とご経験、加えて患者に向き合われる真摯な姿勢、そして、お話の随所から伝わってくる先生の人生観等が、聞かざる者の心を打ちました。

また高槻日赤病院に併設されている「緩和ケア病棟」の映像と説明では、設備のみならず個々の患者に寄り添いながら、人生を最後まで自分らしく生き切ることを援助するという強い理念が貫かれている事に、大きな感動を覚えた人も多かったと思われます。(N 記)

追手門学院大学 学生ボランティアの皆さん



▲受付風景



▲茨木男性合唱団

● 市民活動センター行事に関するお問い合わせは、

活動紹介



歌声広場



ミニステージ



▲ハンドベル



◀マジック



▲ハーモニカ



▲ヘルマンハーブ

体験コーナー



▲歌体操

手づくりコーナー



▲フラダンス

健康応援コーナー



▲心肺蘇生法



▲民舞



活 動 報 告

ボランティアコーディネーター 養成講座

- 12月11日(土) 午後1時～
- 福祉文化会館 202 号
- 講師/海士 美雪さん

ボランティア活動が、喜びと生きがいを持って継続されていくために、今、ボランティアコーディネーターの存在が重要視されています。今回はその入門を学びました。



研修会 新しい NPO 法人会計基準について

- 12月15日(水) 午後2時～4時
- 茨木市民活動センター 交流サロン
- 講師/小國 英男さん(税理士)

新しいNPO法人会計基準では、会計報告書が大きく変わります。今回は、その点について詳しい説明を聞く研修会を開催しました。資料はセンターにあります。ご希望の方には、コピー代実費でお付けします。



次回講座案内

1/22
土

成年後見制度について

時間/午後1時30分～4時
場所/福祉文化会館 302 号室
講師/岡島 貞雄さん (NPO 法人市民後見ひょうご理事長)
多和 千鶴子さん (茨木市地域包括支援センター葦原所長)

2/19
土

地域における移動送迎活動について

時間/午後1時30分～4時
場所/福祉文化会館 202 号室
講師/遠藤 準司さん (NPO 法人 アクティブネットワーク代表) 未定 (茨木市障害福祉課担当者)



★今後の予定

- 1月19日(水) 市民活動相談日
- 2月5日(土) 登録団体交流会
- 3月5日(土) 講座「日本の農と食を考える」
- 3月9日(水) 講演「大震災時のボランティア活動」講師 早瀬 昇さん
- 3月17～19日(3日間) 高齢者のパソコン教室
- 3月19日(土) ラウンドテーブル

ラウンドテーブル

(井戸端会議)

水飢饉を考える

日時/1月15日(土) 午後3時～5時
場所/市民活動センター交流サロン
★関心のある方、どなたでも自由参加



センターの看板が出来ました

市民会館に入って、センターへの階段の前に素敵な看板がお目見えしました。入口の花台とともに新和町の西島直邦さんの作品です。ご来所の折にはぜひご覧になってください。



編集後記

あけまして、おめでとうございます。
フェスタでは皆様大変お世話になりました。
今年度も残すところ3ヶ月となりました。市民活動セン



ターが皆様の活動にどのように寄与できているのか、はなはだ心もとないところですが、皆様に支えられてこれからも前向きに頑張っていこうと考えています。今後ともご意見、ご感想をぜひお聞かせください。(N)